

【キューセツ：安全衛生基本方針】

人命尊重を基本理念とし、
安全は企業発展の原動力であり、社会的使命である。

昨年6月の下旬に安全大会を行いました。今年は諸事情ありまして7月にずれこみました。

現場の方とはすれ違いでなかなか会う機会も少なく、今日顔を合わせてみると、懐かしく、嬉しく思うと共に、感謝しております。

ここ5年ぐらい前からすると、会社の体質も変わってきています。世の中が若干良くなったというよりも、世の中の変動にも左右されないような「強い体質の会社」になってきつつあると感じています。これから3年、5年ぐらいかけてしっかりした筋肉質な強い会社にするためには、ここで災害等が起きると、手かせ足かせになってしまいます。なによりも、家族や信頼する身近な人たちに不幸な思いをさせないように、安全でしっかりした仕事をするのが、ひいてはこの会社のむこう3年、5年の計画に大きく関係してきます。会社全体の事は、私を含めた幹部がしっかりやっていかなければいけません。みなさんは、当たり前のことをしっかりやって頂きたいと思ひます。

日に日に暑さが増し、この暑い中現場で頑張っている皆さんには本当に感謝しています。『感謝している＝辛抱して頑張れ』という事ではありません。休憩、水分をしっかり取って、きつかったら早めに申し出ることが大事です。『熱中症をなめてはいけません！！』若いからといって油断したら命を落とします。熱中症になる前に、自分で責任を持って事前に申し出るなりして対処し、周りの人がお互いに気にかけてあげる事が必要です。自分の事と思ひてやって頂きたいと思ひております。

今、本社機能、営業所機能も含め、ずいぶん風通しも良くなり、会社の体質も良くなってきています。その大きな原動力は皆様方の現場での商品（足場組み）のおかげです。他の会社に負けない良い会社にしていこうと思ひています。この夏をしっかり乗り切って、またみんなで良い時間を過ごしていきたいと思ひています。全員で頑張っていきましょう。

今、本社機能、営業所機能も含め、ずいぶん風通しも良くなり、会社の体質も良くなってきています。その大きな原動力は皆様方の現場での商品（足場組み）のおかげです。他の会社に負けない良い会社にしていこうと思ひています。この夏をしっかり乗り切って、またみんなで良い時間を過ごしていきたいと思ひています。全員で頑張っていきましょう。



北島社長



+ 安全講話 ～松尾建設（株）安全環境管理室 顧問 右近守様～

「足場の品質」とは？お客様の使い勝手の良い足場を組む事です。足場の上で作業される方の仕事がさばけるか、いい仕事出来るか、使い易い足場が出来ているかどうか、という事。今、建設業は大変厳しい時代を迎えていますので、協力業者の方も元請けから下請けで仕事を貰った時に、昔の様に利益の出る単価ではないです。その中で利益を出していく為には労務費を少なくして出来高を上げる、という事を協力業者の方は一番気を遣います。仕事がさばけるか、さばけないかを握っておられるのは足場の上での作業については皆さん方です。実際に足場の上で作業される職人さんから「キューセツさんのあの班が、あの職長さん達が組んでくれた足場は仕事がし易い」と言って貰える、それが理想です。皆さん方がいい足場を組んでくれたかどうか、という事が出来高に影響しますし、取りも直さず足場を使う職人さんの安全に寄与する、安全の根っこの所は皆さんが作って頂きたいと思えます。



人間何メートルの所から落ちたら死ぬと思いませんか？普通「墜落」というのは片方の足を踏み外す、踏み外さない方の足が床に残るから頭から落ち、胴体着陸が出来ずに低い所から落ちて死ぬ。建設業で落ちて亡くなった方の殆どが5m未満です。5mは怖いですか？『怖い』という気持ちを持っていると「安全带」を使うのです。落ちて亡くなった方の殆どが安全带を使っていない。それは『怖くない』という気持ちがあったからです。一番低い所から落ちて亡くなったのは40センチからです。また別件でわずか80センチの脚立から転倒即死。高さを馬鹿にしてはいけません、5mの高さをいつまでも怖いと思っていて欲しい。

落ちたら誰の責任ですか？労働安全衛生法の中には労働者が処罰される規定があります。安全带を使いなさいよと指示されたら使わなければならない義務があります。もし守らなかった場合50万円以下の罰金刑。もし労働者の義務を果たさなかった場合、労災からの給付制限になるし健康保険も勿論使えません。



元請けと一緒にお客様に喜んで頂けるもの作らなければいけない。「足場の品質」を忘れずに仕事をして頂いて、無事故で続けて頂きたいと思えます。自分達だけの事では無く皆の仕事がし易いように、皆の怪我の防止の為に、そのキーになるのは皆さん方です。是非来年の安全大会には、去年の安全大会以後、無事故だったと喜びの表彰者が沢山増えることを祈念致します。

平成25年度 安全大会



～開会の挨拶～
安全衛生協会 崎田会長

安全衛生管理計画発表
北島常務

事故等報告
野田次長

安全推進活動
現場災害 野仲係長

安全推進活動
熱中症について 大坪係長



～安全衛生協会の部～
北九州営業所 福岡班
佐賀営業所 泉班

～社員の部～
八女営業所 井手主任
" 松尾主任
久留米営業所 石井さん

～安全表彰～



安全宣言
木須係長

ゼロ災唱和
西主任



～夏の注意点～

☆夏場の運転

厳しい暑さの為に体力を消耗したり、寝苦しい夜からの睡眠不足による疲労は、運転の集中力を欠きません。夏休み中の子ども達への注意、行楽・お盆帰省の交通渋滞、またゲリラ豪雨などの急な夕立にも注意しましょう。

☆夏場の水分補給（ペットボトルの注意）



熱中症対策に、こまめな水分補給をしますが、多くの方がペットボトル飲料を持ち歩きます。直接口に付けて飲む行為は口の中にある雑菌が入り込み増殖してしまいます。食中毒の危険性は少ないかもしれませんが過信は禁物です。4. 5時間を目安に飲みきりましょう！